

第1学年通信(第1号)

平成30年5月1日発行
福岡県立久留米高等学校
校長：木本 和宏
第1学年主任：中尾 朋浩

『 進取果敢 』

第1学年主任：中尾 朋浩

入学して約一か月経ちました。新しい生活の始まりに不安を感じていた人も、先日の「自立と協働を学ぶ体験活動」で一気に友達との距離を縮めることができたり、集団行動や校歌練習でみんなと呼吸を合わせ、一体感を感じたり、登山では集団で登る安心感や、やり遂げた達成感・満足感を体感できたのではないのでしょうか。さまざまな活動を通して楽しいばかりでなく辛い中からも学びえた貴重なことを「明日につなげる」ようにしてもらいたいです。

さて、入学式でも話しましたが、君たちには今後、人のために何ができるのかを考え行動できる人になってもらいたいと思っています。自分のことで精一杯だ。とか、まずは自分をしっかり磨いて、人のことはそれからだ。とか思っている人もいるかもしれませんが、人は自分だけで成長するものではなく、他者との関わりがあってこそ成長するものだと思います。だから人のために何かをすることは自分のためでもあり、自分の存在価値を確認できるものでもあるわけです。宿泊研修中、友人のために何かできましたか？

「進取果敢」という言葉を1学年のスローガンにあげました。「自ら進んで積極的に事をなし、決断力が強く大胆に突き進む」という意味です。物事を成功させるために計画的に努力をすることはもちろん大切です。しかしその過程で「失敗したときの辛さを怖がって、その一歩が踏み出せない」のは結局何も生み出しません。失敗を恐れず果敢に高みへと挑戦する。準備をして結果失敗したとしても、そこから学ぶことは、成功体験では学べない大きなことを学ぶことができると思います。久高生としてこの3年間、何事にも一生懸命に果敢に突き進み、人間として逞しく成長してほしい、そして卒業するとき、久留米高校でよかったと言えるような充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

篠栗の地で君たちの姿を見たとき、3年後の逞しい姿の片りんを見たような気がします。期待しています！

【 クラス目標 】

1 組	克己～根を張る1年に～
2 組	笑輝相愛～everyday smile～
3 組	四十人四十色 ～個性が輝くクラス～
4 組	考 動
5 組	～徹底～
6 組	躍 進 一歩前～文武両道～

【 第1学年研修活動 】 平成30年4月22日(日)～24日(火)
福岡県立社会教育総合センターにおいて、2泊3日の「自立と協働を学ぶ体験活動」が行われました。

天候にも恵まれ、予定どおり研修活動をやり遂げることができ、研修の目的である「集団での生活を通じて、互いを尊重して協働する・規律の重要性を認識する・社会に貢献する」を学ぶことができました。学校でも頑張りましょう。



【 その他・連絡事項 】

・ クラス目標やスマホ・携帯電話の使用についての約束事を成就させるよう努力しましょう。

2学年通信

福岡県立久留米高等学校
校長 木本和宏
第2学年主任 新木幸子
平成30年5月2日発行 第1号

「平成30年度 目指すは“躍進”する第2学年」

早いもので平成29年4月7日に始まった久高生としての高校生活も1年を過ぎました。1年前よりも随分と頼もしい顔つき、思慮ある行動、そして2年後の進路選択に向けての学習意欲の向上と、皆さんの成長には嬉しく思うところです。ただ、この目まぐるしく変わりゆく社会に通用する『人間力』の育成のためには、まだまだ幾つもの壁を乗り越えて、心身ともに鍛えていく必要があります。今年度は、先輩方から、学校行事や部活動を引き継ぐ年でもあります。皆さんがリーダーとしての役割を受け継ぐ年なのです。また、大きな行事として海外修学旅行があります。国際人になるべく、広い視野を持ち、日本人として規範意識を持って、多くのことを吸収して、一回りも二回りも大きく成長してください。この久留米高校第2学年への帰属意識をもって、集団の中で、個を見つめ直し、あらゆる活動の場面で、周囲と協力し、貢献できる力を身に付けていきましょう。今年の学年スローガンは『躍進・大いに進歩/発展すること』です。

新年度も一緒に悩んだり泣いたり笑ったりしながら、輝かしく躍進を遂げる一年にしましょう。

学年主任 新木幸子

【クラス目標】



1組	Aim Higher 更なる高みを目指せ！
2組	未見の我を知る
3組	雑草のように強く、たくましく。
4組	突破
5組	凡事徹底
6組	自己改革

【行事予定】



5月	11日(金)	考查時間割発表 新体力テスト
	12日(土)	久セミ
	17日(木)	心臓検診 体育祭前健康相談
	22日(火)~24日(木)	中間考查
6月	2日(土)	久セミ
	9日(土)	体育祭
	14日(木)	耳鼻科検診
	18日(月)	考查時間割発表
	28日(木)~7月3日(火)	期末考查

自進 3 学年通信

第1号



平成30年4月23日発行
福岡県立久留米高等学校
校長 木本 和宏
第3学年主任 吉田 貞徳

各分掌よりメッセージ

教務課より

新年度にあたり、教務課から皆さんにお願いがあります。学力向上のためには授業の充実が大切です。授業を充実させるために、以下の環境整美をお願いします。基本を大事にしましょう。

1. 美しい黒板 (毎時間丁寧に消された黒板で授業を始めます。)
2. 元気な挨拶 (授業開始と終了時は心をこめて挨拶します。)
3. 机上準備 (目的意識を持てば、自ずと準備が整います。)

進路課より

旧五千円紙幣に載っていた日本を代表するグローバル人材を知っていますか。新渡戸稲造(1862~1933)。1920年代前半に、彼は国際連盟事務局次長を務めています。昨年、カナダ修学旅行で University of British Columbia(UBC)を訪問しました。新渡戸稲造庭園の色鮮やかな紅葉と「我、太平洋の架け橋とならん」という彼の言葉は心のアルバムに深く刻まれていると思います。37歳で *Bushido, the Soul of Japan* (1899) [日本訳本『武士道』をネイティブスピーカーも称賛するほど格調高い美文で書いた新渡戸の英語力。その英語力は、眼病を誘発するほどの多読、睡魔に襲われた時には井戸端で水を浴びてまで勉強をした努力によるものです。みなさんもこの一年間、不断の努力を通して、「挑戦し、克服し、やり遂げる力」という社会を生き抜く力を身につけます。それが第一志望の進路実現を達成することにも繋がるのです。

生徒指導課より

今年度、特に皆さんに意識してほしい事は大きく2点あります。

① ワンストップ挨拶の励行 ② 体育祭の成功 です。
爽やかな挨拶はお互いが気持ちよく過ごすことができる環境を整えます。また、社会人として必要な「スキル」の一つであるといえます。元気で礼儀正しい挨拶が意識することなく「当たり前」にできることはきっと皆さんにとってプラスになるはずで、3年生が後輩たちに伝える文化の一つにしよう。また、今年度、最も大きな行事といっても過言ではない「体育祭」は今までこの学年が学んできたことの集大成です。110周年にふさわしいような記録にも記憶にも残る体育祭を皆で作上げよう。

7月までの学校行事

4月6日(金)	始業式
4月10日(火) 11日(水)	校内模試
4月12日(木)	課外開始
5月12日(土)	久セミ
5月22日(火) ~ 24日(木)	中間考査
5月26日(土) 27日(日)	進研マーク模試
6月1日(金)	英検1次
6月2日(土)	久セミ
6月9日(土)	体育祭
6月28日(木) ~ 7月3日(火)	期末考査
7月7日(土) 8日(日)	進研記述模試
7月14日(土)	久セミ
7月18日(水) ~ 20日(金)	三者面談
7月20日(金)	終業式



第3学年訓

「自進」自ら進んで学び、自ら進路を切り拓く

第3学年主任 吉田 貞徳

いよいよ将来を決める大切な一年が始まりました。皆さんは大いなる決意を持ってスタートを切ったことと思います。4月7日の入学式では、生徒会役員と体育祭リーダー達が新入生の前で立派に校歌紹介をしてくれました。紹介を終えてステージから下りて歩いてくる彼らの姿を見て、かわいらしい新入生と比べると2年間でこんなに遅くなるのかと驚かされました。皆さんは入学以来、体力的にも精神的にも遅くなっています。今年度は創立110周年という記念すべき年でもあり、最上級生として在籍できることは大変光栄なことです。皆さんが成すべき大きな行事は体育祭です。体育祭リーダーだけに任せるのではなく、ブロックは違えども3年生全員が一致団結して体育祭を成功に導いてください。そして、日々の学習はもちろんのこと、部活動や学校行事に熱心に取り組み、この年を一生心に残るものにしてください。

第3学年の学年訓は「自進」としました。今年度から課外授業の時間数が減り、自学自習できる時間が増えました。授業で学んだことを定着させるためには、自学自習は絶対に欠かせません。「自らやる」ことが重要だと考え、「自」を使った造語で「自進」としました。もちろん「自信」の意味も込めています。常に「自ら」を念頭に置いて何事にも意欲的に取り組み、『自信と誇りを持った久高生』へと遅く成長していきましょう。

ところで、厳しい大学入試に立ち向かう覚悟はできているでしょうか。皆さんには校訓の「気魄」を意識して、困難に立ち向かう強い精神力を身に付けてほしいと願っています。きつい受験勉強を乗り切るためには、「出席皆勤を目指す」、「熱心に掃除に取り組む」、「大きな声で挨拶をする」そして「授業を大切にすること」など、当たり前のことを手を抜かずにやるのが大切です。さらには、周りの頑張る姿を励みにして自分も頑張るといった集団の中で自分を成長させることも大切です。我々教師の喜びは、努力を重ねて進路実現していく生徒の姿を見ることです。第一希望での進路実現のために、挑戦する気持ちを持ち続け、日々努力を積み重ねることを実践してください。

久留米高校での生活はあと一年しかありません。最上級生として、頑張る姿を後輩たちに見せて、久留米高校をさらに活気ある学校へと導いてください。そして、これまで以上に時間の大切さを痛感し、この瞬間(とき)を一生懸命に生きて、自ら進んで学び、自ら進路を切り拓いていきましょう。皆さんの成長を大いに期待します。